

「大学生を対象とした農業体験と食に関する意見交換会」開催概要
～作る楽しさと食べる楽しみ～

- 日 時：平成26年10月11日（土）10：00～14：30
- 場 所：横峰昭南氏圃場及び綾川町羽床南部集会所（香川県綾川町）
- 参加者：51名（香川短期大学学生49名、教職員2名）
- 主 催：中国四国農政局高松地域センター

■概 要

【午前の部】10：00～12：00

- 1 開会あいさつ
高松地域センター 田鎖次長
- 2 農業体験
(1) モチ米（紅染めもち）の稲刈りとはぜかけ



- (2) トラクター試乗とあいがもの捕獲



【試食】紅染めもちで作ったおもちと大根のシロップ漬け



【午後の部】 13:00～14:30

3 情報提供

農林水産省で取り組む食育推進等

4 講演及び意見交換

演題「あいがも農法と食」

講師：横峰 昭南氏

《講演概要》

○ あいがも農法米との出会い

私は動物が好きで、犬もあひるも鶏も飼っている。あいがもを飼っていたら、あいがも米作りを始めていたというような感じである。非常にあいがもはかわいい。また、あいがも米は無農薬、無化学肥料でアトピーに効くと聞いている。ただ、この写真を見てもらったらわかるように、きれいに田んぼの中に稲を植えても、あいがもが池を作ってしまう。なぜかというと、犬や猫に襲われる可能性があるので、この池を作って身を守っている。この池が、田んぼの大きさにもよるが、結構もったいない。現在、あいがも米は、東京、大阪、京都、福岡の消費者から注文があり年間150袋ぐらい（30キロ入り）送っている。



○あいがも農法とは

あいがも農法とは、あいがもの飼育と田植えを平行して行う農法である。あいがもを田んぼに放す時期は、稲の根が根付き、苗が浮かない頃を見計らい放す。あいがもを田んぼに入れることで、あいがもが足をごそごそとかき回し、雑草が生えなくなり、稲の根張りがよくなる。また、カメムシやジャンボタニシも食べてくれるという利点もある。

あいがもを稲と一緒に育て、米の収穫後、11月の第2又は第3週の日曜日に兵庫県養父市の業者に運び解体してもらおう。解体には1羽で1,350円かかる。また、雛代は500円かかる。

なぜ、兵庫県の業者に運ぶかということ、あいがもはもともと潜在的に鳥ウイルスを持っているらしく、近くの鶏を解体する業者では扱ってくれないためである。そういう苦労もある。

○あいがもの成長

あいがもは、大阪府八尾市の業者から雛を購入している。生まれてすぐの雛が段ボール箱に入って郵便で送られてくる。1箱に50羽入ってくるが、1～2羽は死んでいる。まず、着いた雛に砂糖水を飲ませる作業を行う。飲ませ方は、首を持ち砂糖水が入った洗面器にくちばしを入れて飲ませる。また、生まれてすぐのあいがもは体温が低いため、1週間程度こたつの中に入れ、暖かい環境で育て田んぼに放してやる。放すときは、暖かいところから冷たい田んぼに入れるため、溺れたり心

臓麻痺を起こしてしまうことがある。心臓麻痺を起こしたときは、風呂に入れて羽をふきドライヤーをかけている。風呂に入れるまで仮死状態のあいがもには心臓マッサージをする。それが、またかわいい。

○農業の楽しさ

農業の楽しさは、作って食べることである。でも、みなさんに来てもらって、収穫してもらったり食べてもらったりすることも楽しい。自分のアイデアで何でも出来ることも魅力である。

例えば、れんげを田んぼに植える。れんげは窒素分を含んでいるので、すき込むといい肥料になる。でも、れんげの花が咲いてもったいないので、何かいい利用方法はないかと考える。それで思いついたのが、蜜蜂の養蜂である。現在、我が家には、11群ぐらいいる。蜂蜜は、暑い7月から8月ごろ搾るが、1群（女王蜂が1匹いて、働き蜂がいる1つの群れをいう。）でだいたい大きなのりの瓶1つぐらい採れる。来た人に持って帰ってもらうこともある。

また、収穫したものの保存方法を研究するのも楽しみの1つである。今日試食して欲しかった「つくしの佃煮」。これがまたおいしい。それから、「みょうがの酢味噌あえ」。でも、もっとおいしいのは、みょうがの天ぷら。また、今が旬のしその実の天ぷらとおいしい食べ方はいくらでもある。こういうのが、農業の最大の楽しみである。

○保存食のレシピ紹介

「大根のシロップ漬けの作り方」

我が家の秘伝で教えたくないが、産直に出したらとても売れる。レシピを教えると言われ、教えたら他の人がまねしたら困ると思ったが、気が弱いので教えてしまった。だから、みんなに教えることにしている。まず、大根の皮をむいて4kgにする。大根4kgに対し、白砂糖1kg、酢1合、塩1合を準備する。これが基本。ナイロンの袋に材料を入れて混ぜる。注意する点は、混ぜた後これをそのまま置いておくと塩が沈殿するので、漬けた半日後には反対にする。2、3回繰り返したら均等になる。また、かくし味として鷹のつめを2本ぐらいと柑橘系のみかんやすだちを1、2個入れるともっとおいしくなる。7～10日程度おくと美味しく食べられる。出来たら、1～2ヶ月ぐらいで食べ切るようにして欲しい。また、大根は出来るだけ新しいものを使うとおいしいシロップ漬けが出来上がる。

「黒にんにくの作り方」

にんにくを炊飯器に一杯入れて1週間程度、保温状態でそのまま置いておく。そうすると、なぜか黒くなる。（水分が蒸発しただけで成分は逃げない。）注意することは、臭いがすごいので家の中に置くのではなく、風通しのよい外に置く。

「たまねぎ氷の作り方」

タマネギの皮をむき、8つ切りにしたものを電子レンジに5分かける。やわらかくなったらミキサーに入れ、水1合ぐらいを加えかき混ぜる。ジュース状になった

ものを製氷皿に入れて凍らせる。解凍したものをごはんに入れても、刺身に付けて食べてもおいしいし、また、お汁の中に1切れ入れてもおいしい。

5 意見交換

Q. あいがも農法の米はアトピーに効果的なのですか。

A. 私も詳しいことは分からない。ただ、言えることは無農薬、無化学肥料がいいのではないかと。私の親父の時代、大正生まれの人は90から95歳と長生きしている。戦後、一般的に肥料や農薬が入って、無害といいながら、少しは影響があるのではないかと思う。だから、昔はアトピーなどはなかったのではないかと思う。

だから、私は出来るだけ農薬や肥料を使わないようにしている。そのためカメムシの被害による斑点の付いた米が多いが、おいしい。また、そのカメムシを防除するために農薬をかけると蜜蜂が死ぬと言われている。今、日本蜜蜂が減っていると問題になっており、そういう意味でも、私は、蜜蜂を大事にしている。

Q. 鉄腕ダッシュなどで紹介されている柿を発酵させたものや唐辛子を、害虫を駆除するために使っているか。

A. 使っていないが、効くらしい。また、酢と焼酎と唐辛子を入れて農薬代わりにやると効くと聞く。私は、白菜などに青虫が来たら、米ぬかをばらまく。そうすると、虫がぬかを食べて白菜の食害を防ぐことができる。

Q. 農業をやって一番苦労したことは何か。

A. 苦労したことはなく、楽しいことばかりである。だから、息子に継がせようと思っている。近所の人「農業はいやだ」と言うけれど、なぜ嫌なのかと思う。アイデア次第でいくらでも発展の可能性がある。例えば、お米を販売しているが、私は、普通の人より高く販売している。それは、普通の人には売るところがないからそのまま売っている。一度カメムシの被害を受けた斑点米を30キロ3,000円で売ったら飛ぶように売れた時があった。その時は、そのままではなかなか売れないと思い、最初、1升ずつ配り食べてもらってから勧めたら、1週間で50袋売れていた。そういう意味からもあいがも米は非常に高いものであるが、それでも売れている。だから、農業はおもしろい。

以前に新婚旅行で我が家に泊まった人もいる。私の夢は民泊。農家民泊や農家レストランをやりたい。

Q. もうすぐ台風が来るが、あいがもをそのままにしておくのか。(田んぼの中)。

A. そのままにしておく。あいがもは水鳥だから雨風に強く流されない。今年は、11カ所の田んぼに入れていたが、今日あいがもがいた田んぼと、稲刈りやトラクターに乗車体験をした田んぼには50、30、30羽ぐらい分けて入



れた。今は、なぜか一番上の田んぼに集まっている。

あいがもも、今は羽を切っているが、昔は切っていなかったなので、この集会所のあたりまで飛んで行っていた。そして、Uターンしてまた帰ってきていた。中には、近くの家の屋根で鳴いて、「おーい。鳴つきよるぞ。おい、捕まえにこい」と電話がかかってくることもあった。また、近くの川に入り、葦の中に隠れて出てこないあいがももいた。そんなことがあって、今は、片方の羽を切っている。両方切ると、一緒に飛んで行ってしまうので、片方の羽だけにして回転させる。一番こわいのは、あいがもが雛で、水田の稲がまだ小さい時に、カラスの被害にあうことである。これだけではどうしようもない。流星花火を上げたり、黒いテグスを張って防衛するが、カラスからの被害を完全に防ぐことはできない。稲が大きくなれば、稲の間に隠れるので、カラスからの被害を防げる。

やぎも育てているが、最後には、炊いていただく。（参加者「えー！」）そのために飼っている。「食育教育」というが、うさぎでも、やぎでも、鶏でも何のために飼うのか。豚、牛も一緒に、全部食べるためである。愛玩動物として飼うこともいいと思うが、昔から食肉として人間の命を育んでくれるものを食べてあげることが大切だと思う。稲も同じで命があり、ホウレン草も命がある。食べてあげないと反対にかわいそうだと思う。少し残酷なような気がするがとても大切なことだ。

Q. あいがもの羽を切るということは、手を切るということか。

A. 羽なので手になるのだろうか。

Q. 羽を切ると痛くないのか？

A. 羽を切った時は、痛いので怒る。だけど、飛んで行って、逆に犬に食べられる方がかわいそうだ。切って飛ばないようにしてやるのが、その時はかわいそうかもしれないが、あいがもとしては幸せだと思う。私に食べられるから。

Q. 農作物へのイノシシの被害はあるか。

A. むちゃくちゃある。だから、他の人は、イノシシの被害にあわないように電気の柵をする。そうすれば、イノシシは逃げるよ。でも、同じ電気の柵をするのであれば、少し手間はかかるが金網をつけると、その中であいがもを飼うことができる。水田の中にイノシシが進入してこないように電気の柵をするのではなく、その囲いの中であいがもを飼うという発想の転換が必要である。

Q. もぐらの被害はないですか。

A. あいがもを入れていることにより、田んぼの草を食べてくれるおかげで被害な少ない。あいがもがいないと、もぐらがあぜに穴を開けてしまい、水がもれてしまう被害が多い。

Q. 保存レシピで一番失敗したことは。

A. 一番の失敗は、たくさん作り保存しすぎることである。うまく作れても、食べる量が限られているので、冷蔵庫に保存していても腐らせてしまうことが多い。それで、家に来た人に「持って帰って」と強制的に配っている。

6 閉会あいさつ

消費・安全グループ 高橋総括管理官